

事例検討会

セントケア和歌山の居宅介護支援事業所の呼びかけで、合同事例検討会を行いました。

7事業所から約30人が参加。

認知症の夫と精神疾患のある妻の夫婦への関りについて、セントケア和歌山管理者の井脇 CM による事例提供があり、事例についてグループでディスカッションしました。

精神疾患を持つ方への関りは難しく、良かれと思って介入しすぎると本人との関係づくりができません。

精神科医、訪問看護師と情報共有することで、医療と介護連携がうまくでき、最終的には小規模多機能を利用することで、落ち着いた生活を送れるようになった事例でした。

医療と介護の懸け橋に訪問看護ステーションの役割が大きいことがよくわかりました。

セントケア訪看城北の平岡所長は精神疾患対応に詳しく、今回の事例検討会で精神疾患のある方へのアプローチについて、ミニレクチャーを引き受けてくれました。

ポイントを押さえわかりやすい説明で参加者も納得。

今回は会場がなかなか見つからず和室での開催となりました。

畳の匂いのする部屋でまさにひざを突き合わせての事例検討。

なかなかいいかも。

